

回答企業等の所在地		
都道府県	施設数	割合(%)
大阪府	21	36%
京都府	4	7%
兵庫県	3	5%
奈良県	1	2%
滋賀県	2	3%
愛知県	3	5%
三重県	1	2%
岐阜県	1	2%
愛媛県	2	3%
徳島県	2	3%
高知県	2	3%
香川県	1	2%
広島県	2	3%
岡山県	1	2%
鳥取県	1	2%
東京都	9	16%
北海道	1	2%
石川県	1	2%
合計	58	100%

地域で色分けしている。

### 回答した企業の業種

G①	1. 病院	20
	2. 薬局	18
	3. ドラッグストア	6
G②	4. 製薬企業	5
	5. 化学系企業	0
	6. 食品系企業	0
G③	7. 公務員（病院）	1
	8. 公務員（行政）	1
	9. 教育機関	0
	10. その他	7
合計		58

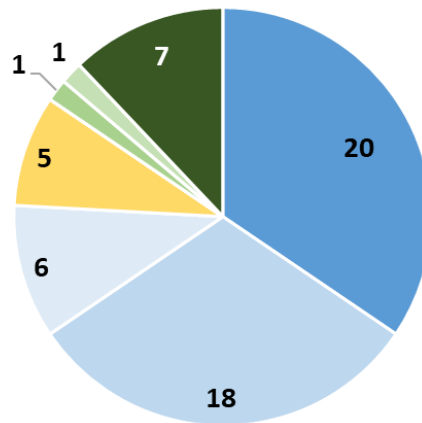
グループを3つに分けて評価

Group1・G①は、病院・薬局・ドラッグストア

Group2・G②は、製薬企業・化学系企業・食品系企業

Group3・G③は、公務員（病院）・公務員（行政）  
・教育機関・その他

### 回答企業施設別（施設）

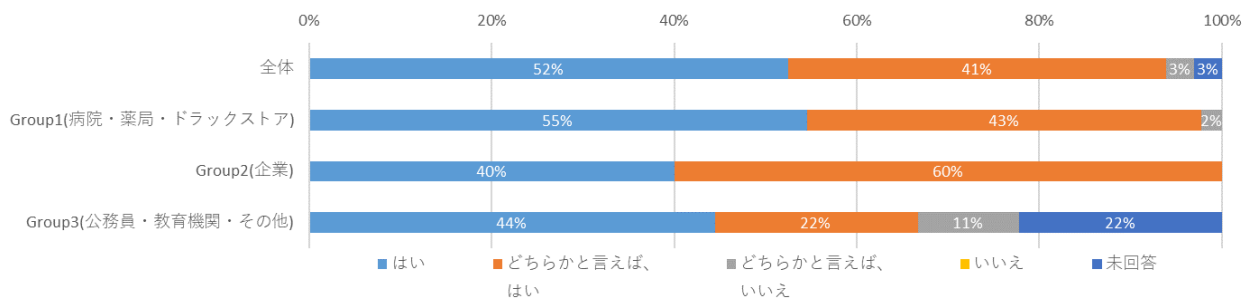


- 1. 病院
- 2. 薬局
- 3. ドラッグストア
- 4. 製薬企業
- 5. 化学系企業
- 6. 食品系企業
- 7. 公務員（病院）
- 8. 公務員（行政）
- 9. 教育機関
- 10. その他

## 問2 「問題発見・解決能力」について

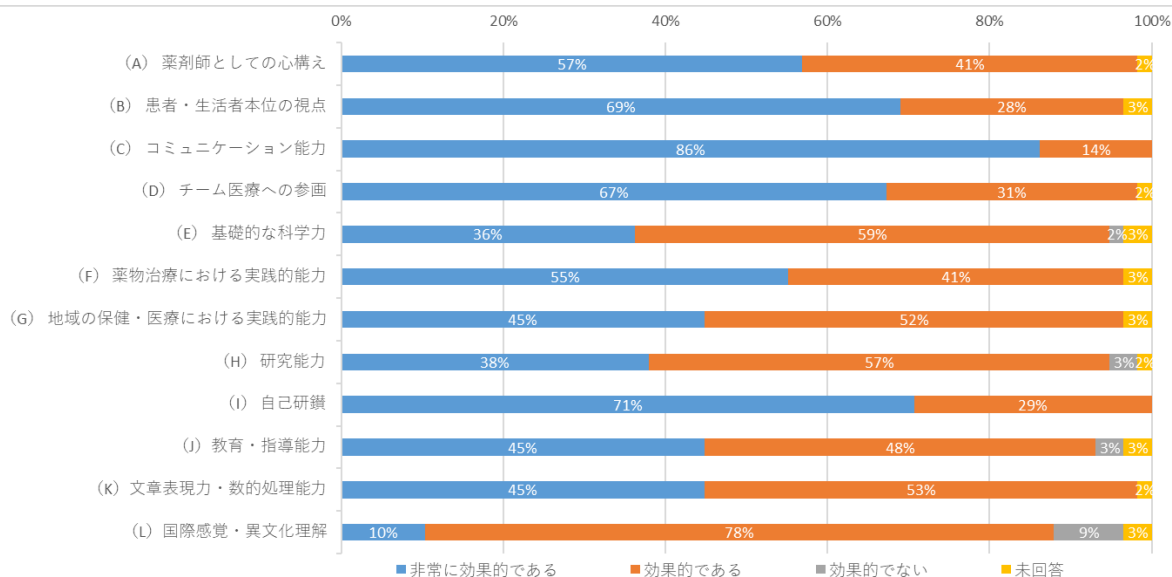
(1) 「問題発見・解決能力」は、本学卒業生に身に付いていると感じますか。

	はい	どちらかと言えば、 はい	どちらかと言えば、 いいえ	いいえ	未回答	合計
全体	30	24	2	0	2	58
	52%	41%	3%	0%	3%	100%
Group1(病院・薬局・ドラッグストア)	24	19	1	0	0	44
	55%	43%	2%	0%	0%	100%
Group2(企業)	2	3	0	0	0	5
	40%	60%	0%	0%	0%	100%
Group3(公務員・教育機関・その他)	4	2	1	0	2	9
	44%	22%	11%	0%	22%	100%



(2) いずれの能力を養成することが、「問題発見・解決能力」の養成に効果的であると考えますか。

項目	非常に効果的である	効果的である	効果的でない	未回答	合計
(A) 薬剤師としての心構え	33	24	0	1	58
	57%	41%	0%	2%	100%
(B) 患者・生活者本位の視点	40	16	0	2	58
	69%	28%	0%	3%	100%
(C) コミュニケーション能力	50	8	0	0	58
	86%	14%	0%	0%	100%
(D) チーム医療への参画	39	18	0	1	58
	67%	31%	0%	2%	100%
(E) 基礎的な科学力	21	34	1	2	58
	36%	59%	2%	3%	100%
(F) 薬物治療における実践的能力	32	24	0	2	58
	55%	41%	0%	3%	100%
(G) 地域の保健・医療における実践的能力	26	30	0	2	58
	45%	52%	0%	3%	100%
(H) 研究能力	22	33	2	1	58
	38%	57%	3%	2%	100%
(I) 自己研鑽	41	17	0	0	58
	71%	29%	0%	0%	100%
(J) 教育・指導能力	26	28	2	2	58
	45%	48%	3%	3%	100%
(K) 文章表現力・数的処理能力	26	31	0	1	58
	45%	53%	0%	2%	100%
(L) 国際感覚・異文化理解	6	45	5	2	58
	10%	78%	9%	3%	100%



上位/下位 3 番目までを色付けしている。

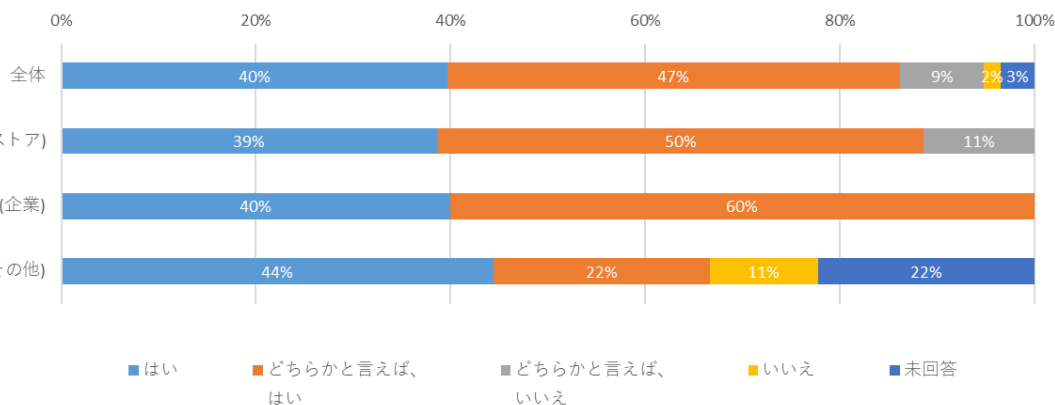
「非常に効果的である」を5点、「効果的である」を3点、「効果的でない」を1点、「未回答」を0点とした合計点によって行っている。

順位	Group1(病院・薬局・ドラッグストア) 44施設	得点	順位	Group2(企業) 5施設	得点	順位	Group3(公務員・教育機関・その他) 9施設	得点
1	(C) コミュニケーション能力	208	1	(C) コミュニケーション能力	23	1	(C) コミュニケーション能力	43
2	(I) 自己研鑽	196	1	(I) 自己研鑽	23	2	(D) チーム医療への参画	39
3	(B) 患者・生活者本位の視点	193	1	(B) 患者・生活者本位の視点	23	2	(H) 研究能力	39
4	(D) チーム医療への参画	189	4	(D) チーム医療への参画	21	4	(I) 自己研鑽	37
5	(F) 薬物治療における実践的能力	185	4	(A) 薬剤師としての心構え	21	5	(J) 教育・指導能力	34
6	(A) 薬剤師としての心構え	184	4	(K) 文章表現力・数的処理能力	21	6	(B) 患者・生活者本位の視点	32
7	(K) 文章表現力・数的処理能力	170	4	(J) 教育・指導能力	21	6	(A) 薬剤師としての心構え	32
8	(G) 地域の保健・医療における実践的能力	169	4	(E) 基礎的な科学力	21	6	(K) 文章表現力・数的処理能力	32
9	(J) 教育・指導能力	161	9	(G) 地域の保健・医療における実践的能力	19	6	(G) 地域の保健・医療における実践的能力	32
10	(E) 基礎的な科学力	157	9	(E) 基礎的な科学力	19	6	(E) 基礎的な科学力	32
11	(H) 研究能力	151	9	(L) 国際感覚・異文化理解	19	11	(F) 薬物治療における実践的能力	30
12	(L) 国際感覚・異文化理解	123	12	(F) 薬物治療における実践的能力	17	12	(L) 国際感覚・異文化理解	28

### 問3 「積極性・リーダーシップ」について

(1) 「積極性・リーダーシップ」は、本学卒業生に身に付いていると感じますか。

	はい	どちらかと言えば、はい	どちらかと言えば、いいえ	いいえ	未回答	合計
全体	23	27	5	1	2	58
	40%	47%	9%	2%	3%	100%
Group1(病院・薬局・ドラッグストア)	17	22	5	0	0	44
	39%	50%	11%	0%	0%	100%
Group2(企業)	2	3	0	0	0	5
	40%	60%	0%	0%	0%	100%
Group3(公務員・教育機関・その他)	4	2	0	1	2	9
	44%	22%	0%	11%	22%	100%



(2) 「積極性・リーダーシップ」を本学卒業生が高めるためには、在学中にどのような教育や課外活動が効果的だと思いますか (複数回答可)。

選択肢	2. 実習・実験	3. 実務教育	4. 卒業研究 (研究室での活動)	5. クラブ活動	6. アルバイト	7. インターンシップ	8. 地域貢献活動	9. その他	合計
全体	47	16	21	14	33	26	12	25	195
	24%	8%	11%	7%	17%	13%	6%	13%	100%
Group1(病院・薬局・ドラッグストア)	36	10	16	6	24	19	9	21	142
	25%	7%	11%	4%	17%	13%	6%	15%	100%
Group2(企業)	4	2	1	3	3	1	0	1	15
	27%	13%	7%	20%	20%	7%	0%	7%	100%
Group3(公務員・教育機関・その他)	7	4	4	5	6	6	3	3	38
	18%	11%	11%	13%	16%	16%	8%	8%	100%

### 9. その他 個別のフォローアップ体制

